

「今回のヘイトスピーチ規制で曲解が進み教育現場が混乱する のでは？」

平成 28 年 6 月 7 日

●トップハンデさんからの質問

戦前の日本は朝鮮半島から労働者を強制連行して炭坑等で強制労働させた。と嘘をおしえられました。配布プリントの中に、防衛費削減の署名用紙もありました。もう、30年以上前の話ですが、教育現場はこんなもんだと思います。今回のヘイトスピーチ規制で、とんでもない拡大解釈や曲解により、教育現場が恐ろしいことになることでしょう。日教組等は、野党の支持母体であり、動員組織でもあります。大多数の野党は「平和安全法制」を「戦争法」とか「徴兵制」と普通に曲解します。永田町から日の丸議員が絶滅したことを確信しました。日本を取り戻すワンオブゼムにヘイトスピーチ規制法廃止が加わりました。西田氏の見解をお願いします。

●西田昌司の答え

戦後の歴史が正しく教えてこられなかったことがヘイトスピーチを生む原因の一つですし、これについては政治にも大きな責任があります。自民党は戦後の占領政策の延長線上に今があるということを認めて、先の大戦の経緯や事実を国民にしっかりと説明しなければなりません。戦後、「日本は悪かった」という東京裁判史観・自虐史観に基づく教育を続けてきましたが、これは日教組が悪いというよりも文部省の方針だったのです。つまり国を挙げて「自国の否定」をやってきたのですし、自民党もそれを容認してきたのです。

ヘイトスピーチを解消するためにも、教育の現場において正しい歴史教育がされるよう政治は力を尽くさなければなりません。いわゆるヘイトス

ピーチ解消法が曲解されて教育現場が混乱するようなことはありませんし、ヘイトスピーチ解消法はそういったものでは全くないということをここに明言いたします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>